

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木春日寮計画	階数	地上5F
建設地	大阪府茨木市春日三丁目	構造	RC造
用途地域	第二種住居専用地域、第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	132人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年1月24日
敷地面積	2,750㎡	作成者	株式会社三菱地所設計関西支
建築面積	1,444㎡	確認日	2020年1月28日
延床面積	5,609㎡	確認者	株式会社三菱地所設計関西支



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 89%

③ 上記+②以外の: 89%

④ 上記+: 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
室内の温熱環境・空気環境の向上を図り快適な居住空間を創出するとともに、積極的に外構緑化に努めるなど、建物内外の環境設計において配慮した計画とした。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装材にはF☆☆☆☆の建材をほぼ全面に使用し、また自然換気が可能な開口面積を十分に確保することで、室内の空気環境の向上に努めている。	躯体材料及主要な内装仕上げ材、配管材料に耐用年数の長い材料を使用することで建物全体で高寿命化を図っている。	駐車場に緑化ブロックを使用し、敷地内の緑地面積の確保に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
品確法「断熱等性能等級」における等級4相当の断熱性能を確保することで、建物外皮の熱負荷抑制に努めている。	衛生設備機器等において節水型の器具を採用し、水資源の保護に努めている。	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率: 81%とし、地球温暖化へ配慮した計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-変-0001

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木春日寮計画						
	建設地	大阪府茨木市春日三丁目						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.1	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							